

(別添4)

## 【野々海市】

### 端末整備・更新計画

#### 「1人1台端末の利活用に係る計画」

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICTを効果的に活用するとともに、児童生徒が学びに対して自己調整力を働かせながら、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努めていく。

野々海市では、令和4年3月に策定した「第3次野々海市教育ユニバーサルプラン（教育振興基本計画）」基本目標1「学校教育の充実」の中で、ICT機器及びデジタル教材を活用した学習を通して、児童生徒が学びを深めたり、広げたりすることができるよう環境整備を図るとともに、教職員が授業に有効活用できるように研修を充実させることを掲げており、これらを推進する中で、今後においても効果的なICTの活用を進め確かな学力の育成に取り組んでいく。

#### 2. GIGA第1期の総括

学校教育情報化推進計画に基づき、次の内容について学校教育の情報化の推進を図ってきた。

- ・ ICTを活用した多様な方法による学習の促進
- ・ 障害のある児童生徒の教育環境の整備
- ・ 相当の期間学校を欠席する児童生徒に対する教育の機会の確保
- ・ 学校の教職員の資質の向上
- ・ 学校における情報通信技術の活用のための環境の整備
- ・ 学習の継続的な支援等のための体制の整備
- ・ 個人情報保護等
- ・ 人材の確保等
- ・ 市民の理解と関心の増進

特に、「ICTを活用した多様な方法による学習の促進」や「学校の教職員の資質の向上」においては、職員への研修やICTコーディネーター担当者研修を計画的に実施してきた。その結果、教師が子供たち個々の学習状況の見取りから支援を行うことや、子供たちが他者の考えから自らの考えを再思考するなど、個別最適な学びと協働的な学びの姿に深まりが見られるようになってきた。引き続き、研修の機会等を充実させるとともに、各種調査結果を踏まえて検証・改善を行いながら、取り組みの充実を図る。

#### 3. 1人1台端末の利活用方法

##### (1) 1人1台端末の積極的な活用

市内小中学校においては、1人1台端末を活用した授業が積極的に行われている。令和6年度全国学

力・学習状況調査の質問調査では、「PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の設問において「週3回以上」と答えた小学校5年生児童の割合は68.5%、中学校3年生生徒の割合は76.1%となっており、国の平均を上回っている。今後については、使用状況のみならず、授業場面での効果的な活用や、個々人の利活用状況を踏まえて、さらに有効な利用方法について研究していく。

## **(2) 個別最適・協働的な学びの充実**

市内小中学校では「子供主体の授業」(「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」)を目指し、ICTの効果的な使用方法について研究していく。教師は、児童生徒が自らの学びを自己調整しながら学習に取り組むためのファシリテート役となり、児童生徒が自分の考えや思いを表現し、他者と共有できるような授業を構成するために、支援ソフトや各種アプリ、思考ツールを活用し、学びに必要な資質・能力を育てていく。

## **(3) 学びの保障**

1人1台端末を活用して、地震や大雪などの自然災害時や感染症拡大時の学校・学級閉鎖、休校時にオンライン学習による学びの保障に努める。また、何らかの理由により、長期欠席の児童生徒に対しては、学習の機会のみならず、友達や教師等とのコミュニケーションの場となるように活用場面を広げるなどの学習支援に取り組んでいく。また、特別な支援が必要な児童生徒に対しては、様々なアプリを活用することで、適切な支援が行えるようにする。